

# 平成20年度事業概要報告書

財団法人日中友好会館

## I. 概 況

平成20年は、日中平和友好条約締結30周年の記念すべき年であり、また「日中友好青少年交流年」として両国の各界、各分野で多彩な交流が実施されました。

当財団も、日中両国民の交流拠点として、両国間の友好協力関係の一層の深化と発展のため、中国からの留学生受け入れと日中学院運営を主軸に、文化交流事業、青少年交流事業、教育関係者交流事業等の分野で積極的に事業を展開しました。

とりわけ、青少年・教育関係者交流は、「東アジア青少年大交流計画」では、高校生を主体に対象を大学生・社会人にまで拡大し、2,900名の中国の青少年を日本へ招聘する一方、1,100名の日本の青少年を中国に派遣し、合計4,000名規模の交流事業を実施致しました。また、日中青少年友好交流年開幕式や同閉幕式、日中平和友好条約締結30周年記念シンポジウムを盛大に執り行いました。

平成20年度収益事業決算の概況は、収入面で当財団の活動を資金面で支えている貸室賃貸料収入が76百万円増加と好調であったが、ホテル部門が52百万円の減収と想定外の不振であり、全体では前年度比26百万円の増加でした。

一方、支出面では諸経費の圧縮に努めたものの、後楽寮繰入金を80百万円増額加した他、退職金引当資産の計上を実施したため、収益事業会計の当期収支差額は90百万円のマイナスでした。

財務面では、期中、既存長期借入金を約定通り1億25百万円返済し、又、預かり敷金を1億円返済しました。

平成20年度以降も資金繰りに余裕のない状況が続く見込みであり、引続き不急の経費支出を抑制し、限られた資金を効率的に活用し対処して行く所存であります。

## Ⅱ. 会計別の事業概要

### 〔1〕収益事業会計

#### (一) 事業部門

#### ★文化交流（日中友好会館美術館）

本年度の当会館文化交流事業は、主催事業は合計3件、貸美術館でのその他の展覧会が16件だった。

#### 【主催事業】

##### ①「上海美術館コレクション 1979-2007」

上海美術館との共催で、同美術館の収蔵する油絵・水彩画・版画67点を展示した。1930～40年代生まれの画家、張曉剛や方力鈞ら中国内外で脚光を浴びる著名画家、新進の若手画家による作品を合わせて展示し、改革開放後の中国美術の潮流を展観した。特に美術界や専門家達からも注目を集め、会期中は約1,600名が訪れた。

会期：5月9日～6月8日

会場：日中友好会館美術館・大ホール

##### ②「第18回中国文化の日 漳州<sup>しゅうしゅう</sup>指遣い人形劇」

福建省漳州の伝統的な指遣い人形劇の公演と展覧会を行った。公演にあたり、芸術性の高さに定評があり海外公演の経験が豊富な漳州木偶劇団を招聘し、また公演期間にあわせて、同劇団の所蔵する漳州指遣い人形・カシラ・小道具類約200点を展示した。

この他、大学出張公演や日本の人形劇団との交流会も実施し、好評を得た。展覧会には2,421名、公演には496名が来場した。

期間：10月1日～10月26日(展覧会) 10月17日～10月19日(公演)

会場：日中友好会館美術館(展覧会)・大ホール(公演)

##### ③「刺繍でつづる母の愛～少数民族の刺繍工芸展」

中国美術館との共催で、中国西南部の少数民族による刺繍工芸品78点を展示した。会期中には展示品解説や刺繍実演の他、中国西南部の少数民族をテーマにした合同企画展も開催した。会期中は5,762名が来場した。当会館での会期終了後、本展は山梨県身延町なかとみ現代工芸美術館へ巡回し、同じく解説と実演を行った。

会期：2009年1月23日～2月22日

会場：日中友好会館美術館

### ★賛助会員活動（日中友好後楽会）

当財団の賛助会員組織「日中友好後楽会」は、会館の施設を活用し、中国人留学生と直接交流を行なうことで相互理解を深め、日中双方の親睦を促進できるよう創設された。会員数は平成 21 年 3 月末日現在、個人会員 113 人(減 13)、法人会員 3 社(不変)

### ★談話会・会員集会

月例の行事として、談話会・会員集会を原則として月 1 回開いている。8 月、12 月は、お盆休み、年末多忙などの理由で休会としている。談話会は後楽寮生を講師として招き、専門分野における研究成果の一端を日本語で披露してもらうのが通例である。60 ～ 90 分にわたって日本語だけで講演し続けるのは相当な負担であるが、講演への準備を含め絶好の日本語訓練にもなるため寮生には好評である。講演後の質疑応答は、大学院での研究発表・講評・口頭試問などへの準備になることを事務局は期待している。談話会終了後の会員集会は立食形式による夕食会である。食事を楽しみながら自由に寮生と会員が歓談できるため、双方から歓迎されている。毎回の談話会の出席者は会員、寮生合わせて 25 ～ 35 名程度である。なお今年度の総会は 11 月 27 日に、54 名の出席を得て小石川後楽園内の『涵徳亭』で行われた。

### ★友好ハイキング

春秋 2 回、会員と後楽寮生が都内あるいは近郊へ友好ハイキングに出かけている。主に貸切バスを利用し、朝から夕刻まで長時間会員と寮生が行動を共にするため、実りの多い交流・交歓の機会になっている。本年度の春季ハイキングは 5 月 19 日に海ほたるパーキングエリアと千葉マザー牧場に出かけた。海上に浮かぶパーキングエリアでの記念撮影、牧場での動物との触れ合いなどを通して、会員と寮生の交流は深まった。

秋は 11 月 17 日に鎌倉と湘南海岸公園内聶耳記念碑を見学した。鎌倉の有名な寺社仏閣をめぐる紅葉を愛で寮生にも日本の体験として喜んでもらえた。とくに中国国歌を作曲した聶耳の記念碑を訪れたことは、会員・寮生にとって非常に貴重な体験であった。

### ★中国旅行

今年度は 7 月 19 日より 9 日の日程で、瀋陽、撫順、集安、長白山、図們、延吉、長春を訪れた。北朝鮮と中国をまたがってそびえる長白山山頂の天池、世界遺産の高句麗古墳群のある集安、北朝鮮との国境の町図們など、主に吉林省の各所をめぐる、歴史・朝鮮族文化・自然を多いに満喫した。天気にも恵まれ、長時間のバス移動が続いたが無事に参加者全員元気に旅行を終えることができた。

### ★会員向け文化講座

月 2 回、第 1、第 3 木曜日に気功教室と中国画教室が開かれ、いずれも高度な専門家の指導を仰いでいる。スタート以来 8 年を経過し、両教室とも生徒は 10 名に達しないが熱心に通いつけている。

## ★観桜会

当会館は毎年桜のシーズンに小石川後楽園内の『涵徳亭』で観桜会を催し、中国大使館をはじめ、会館理事・評議員、後楽会会員、後楽寮生を招待している。平成20年度の観桜会は19回目を数え、出席者は98人、21年3月26日に行われた。

### 平成20年度後楽会活動（平成20年4月～平成21年3月）

	催 事	参加者数
4月23日	談話会・会員集会「竹帛に書すー20世紀以降の簡帛文献」講師：凡国棟	25
5月19日	春季友好ハイキング（海老たるとマザー牧場）	22
6月24日	談話会・会員集会「気功体操“八段錦”をやってみよう」講師：周豊慧	43
7月19日 ～27日	中国旅行 「中朝国境の遺跡と大自然を訪ねる旅」	16
9月24日	談話会・会員集会「福建省の漆と漆芸術」講師：陳秋榮	26
10月28日	談話会・会員集会「中国の国有企業について」講師：史偉華	30
11月17日	秋季友好ハイキング（鎌倉と湘南海岸聶耳記念碑）	18
11月27日	第18回会員総会（小石川後楽園「涵徳亭」）	54
1月20日	新春談話会	48
3月6日	談話会・会員集会「雲南省麗江とシャングリラの魅力」講師：趙毅達	35
3月26日	第19回観桜会（小石川後楽園「涵徳亭」）	98

## ★その他交流事業

### 「第16回日中文化講座の開催」

財団法人かながわ学術研究交流財団との共催で、平成20年12月13日（土）に横浜中華街において横浜華僑総会曾徳新名誉会長による講演と、レストランや茶館、建物をめぐり中華街ぶらり探訪を行った。また、平成21年3月22日（日）には、地球市民かながわプラザにて「中国の若者のファッションと生活スタイル」をテーマに2名のパネリストの講演を行った。どちらも予想以上の申込があり、盛況であった。参加者の若返りを目的にテーマを設定したが、なかなか成果が表れなかったため、今後のテーマ設定を検討していきたい。

### 「留日学人活動站支援」

12月7日に日本留学経験者の同窓会組織「留日学人活動站」の2008年度年次総会が北京の清華紫光国際交流中心に於いて大勢の会員、来賓が参加して盛大に開催された。当財団からは、谷野作太郎副会長及び入江一男事務局長が総会に参加した。留日学人活動站が日本留学経験者の活動の中核として今後更に大きく発展するよう今後も支援を続けて参りたい。

### ★宿泊施設（後楽賓館）

後楽賓館の営業状況については、四川大地震および北京オリンピックの影響で年度前半は中国人宿泊客が激減したため日本人ビジネス客の誘致に力を入れたが、秋からは国際金融危機に端を発する景気悪化のあおりで日本人宿泊客も大幅に落ち込んだ。客室稼働率は60.8%と前年度比11.3%悪化、総売上高は前年度比52百万円減（前年度比16.1%減）の2億70百万円に止まった。

年間の総宿泊客数は全体で9,328名減少の44,746名だった。その内、日本人宿泊数は8名増加の23,220名、中国人宿泊数は8,738名減の21,136名だった。

### ★貸室事業

当財団の主たる活動資金源である貸室事業については、一昨年秋に実施した会館2階の旧事務局スペースの貸し出しによる増収が通年で寄与したこと、年度上半期は不動産市況が堅調であった等の要因より、貸室賃貸料収入は前年度比75百万円増の7億94百万円と好調だった。会議室・駐車場等のその他賃貸料収入は前年度比1百万円増の52百万円であった。

### ★レストラン事業

（有）豫園に業務委託しているレストラン「豫園」、「梅里」は、法人の宴会需要の不振、ホテル宿泊客の減少等の影響により厳しい状況が続いており、レストランの売上額に比例する当財団の収入は、前年度比2百万円減の15百万円に止まった。

## (二) 総務部門

### ★広 報

当財団の活動紹介の広報誌として、「会館だより」を毎月発行、又、平成20年度版「日中友好会館年報」を発行した。また、会館完成20周年を記念して「日中友好会館20年のあゆみ」を刊行した。

ホームページのコンテンツを拡充し、青少年交流事業の告知・報告、文化催事の案内等、会館の機能、活動内容を広く報知した。

### ★管 理

本館地下1階ホールの改修工事、本館外部エントランスの整備、管理センター中央監視装置の更新、別館外周照明増設工事等を実施した。

### ★財 務

既存の長期借入金を1億25百万円返済し、この結果、平成21年3月末の長期借入金残高は1億51百万円となった。

平成21年3月末の預り敷金残高は前年度末比1億1百万円減の9億91百万円となった。尚、三井不動産との敷金未精算金を1億円返済したため、未精算敷金残高は前年度比1億31百万円減の64百万円となった。

後楽寮の赤字補填のため当初予算に計上していた留学生支援基金の50百万円の取り崩しは実施せず、寮の赤字は収益事業会計からの繰入で補填した。

## 〔2〕青少年交流・教育交流事業会計

日本政府は平成 19 年から 5 年間、東アジアサミット参加国の青少年を毎年 6,000 名程度日本へ招聘する「21 世紀東アジア青少年大交流計画」事業の実施を決定、当財団は、そのうち中国との交流事業についてその実施を受託することになりました。平成 20 年度は、日中平和友好条約締結 30 周年を記念し、「日中青少年友好交流年」と銘打たれ、招聘対象を大学生・社会人にまで拡大したことから約 2,900 名の中国の青少年を日本へ招聘する一方、1,100 名の日本の青少年を中国に派遣し、4,000 名規模の交流事業を実施致しました。また、日中青少年友好交流年開幕式や同閉幕式、日中平和友好条約締結 30 周年記念シンポジウムを実施致しました。

また、「21 世紀東アジア青少年大交流計画」事業の適正且つ効果的な推進を図るため、諮問委員会を設置して、外部からの視点を取り入れ、よりよい交流事業を目指すこととし、2 月に第一回諮問委員会を開催致しました。

主な招聘・派遣事業は次の通りです。

### (1) 招聘事業

#### ① 中国高校生短期招聘事業

中国の高校生 1,886 名と香港・澳門の高校生 52 名、合計 1,938 名を 7 陣に分けて日本に短期招聘しました。

	実施年月	人数	受入実施	訪日団参加地域	訪問地
中国高校生 訪日団 第1陣	H20 4.15～ 4.23	196名	JICE	北京、吉林、江蘇、 安徽、貴州	東京、北海道、宮城、茨城、 埼玉、神奈川、岐阜、大阪、 兵庫、沖縄
中国高校生 訪日団 第2陣	H20 5.13～ 5.21	199名	会館	江蘇、安徽、遼寧、 雲南、青海	東京、石川、徳島、宮城、 青森
		200名	友協	四川、甘肅、重慶、 上海	北海道、岐阜、三重、福井、 京都、大阪、長崎
中国高校生 訪日団 第3陣	H20 6.10～ 6.18	247名	会館	北京、上海、山西、 黒龍江、内モンゴ、 陝西、吉林	東京、埼玉、茨城、千葉、 新潟、福島、愛知、富山、 島根
中国高校生 訪日団 第4陣	H20 6.24～ 7.2	252名	友協	北京、河北、河南、 浙江、湖南、重慶、 山西	東京、長野、静岡、滋賀、 岩手、千葉、神奈川、三重、 京都、香川
中国高校生 訪日団 第5陣	H20 10.14～ 10.22	192名	会館	北京、黒龍江、河北、 甘肅、貴州	東京、神奈川、静岡、山梨、 栃木、群馬、新潟、山形
		203名	友協	北京、遼寧、内モンゴ、 新疆、海南、広東	東京、秋田、北海道、京都、 香川、山口、高知、岡山、 茨城、埼玉、大阪

中国高校生 訪日団 第6陣	H20 11.11～ 11.19	199名	会館	天津、江西、陝西、 チベット、寧夏、 広西	東京、大阪、京都、福岡、 千葉、熊本
		198名	友協	福建、北京、雲南、 青海、新疆、江蘇、 四川	東京、大阪、沖縄、兵庫、 大分、鹿児島、奈良、広島
香港・澳門 高校生訪日団	H20.7.13 ～7.21	52名	会館	香港、澳門	東京、兵庫、鹿児島、大阪

4月以降7回に分けて招聘。香港・澳門の学生は20年度から招聘が実現しました。学校交流や訪問校の生徒宅等にホームステイを行い、日本の学校生活と家庭生活を体験し、高校生同士の友情と理解を深めました。また、日本の政治・経済・社会・科学技術・文化・教育などに対する理解も深めました。

(中国側担当機関 教育部、・香港・澳門特別行政区政府。日本側の受入実施の一部を日本中国友好協会、日本国際協力センターに委託)

## ② 中国の大学生・社会人短期招聘事業

中国の大学生・青年工作者・公務員・企業家・エネルギー及び環境分野青年・科学技術分野青年・教育関係者・学者・公務員・医療及び衛生関係者等の分野で将来活躍が期待される青少年822名を日本へ短期招聘し様々な研修プログラムを実施しました。

	実施年月	人数	訪日団団員構成	受入実施	訪問地
中国青年 訪日代表団 第1陣	H20 5.4～ 5.10	205名	総団(胡錦濤主席含む要 人) 特別招聘分団(1984年青 年訪中団OB) 青年工作者、公務員、企 業家	友協	東京、岐阜、 長野、愛知
中国青年 訪日代表団 第2陣	H20 7.23～ 7.30	324名	大学生(北京大学/その他 一般大学)	友協	千葉、東京、 神奈川、 山梨、福島、 京都、大阪、 兵庫
			科学技術分野青年	アジア太平洋 フォーラム	
			医療・衛生分野青年	国際看護交流 協会	

			エネルギー・環境分野青年	JICE	
			青年団体指導者、公務員	会館	
			青少年(四川省大地震被災地区高校生含む)		
中国青年 訪日代表团 第3陣	H20 11.10～ 11.18	293名	青年指導者、公務員	JOCA	東京、神奈川、愛知、長野、山梨、京都、兵庫、広島、新潟
			企業家	日中新世紀協会	
			教育関係者	国際看護交流協会	
			地方青年指導者	日本中国アジア経済戦略フォーラム	
			学者	アジア太平洋フォーラム	
			青少年(四川省大地震被災地区高校生含む)	会館	

5月、7月、11月の3回に分けて招聘。日本における同じ分野の青年との研修・交流を通じてお互いの理解を深めました。また、在日中には日中青少年友好交流年開幕式や閉幕式にも参加しました。また、この青年団とともに四川大地震で被災した高校生を主体に約100名の被災青少年を招聘。群馬・新潟・広島等を訪問し、日本の学生との合同合宿・学校交流等を通じ、友情を深めました。

(中国側担当機関 中華全国青年連合会 日本側担当機関 上記団体に委託)

### ③ 中国国家行政学院研修生の招聘

11月25日から12月2日までの7泊8日の日程で中国の各国家行政機関の幹部候補生を養成する中国国家行政学院の学生53名を日本に短期招聘しました。

	実施年月	人数	訪日団員構成	受入実施	訪問地
中国国家行政学院訪日研修団	H20 11.25～ 12.2	53名	国家行政学院研修員	国際交流サービス協会	東京、兵庫、山口

将来、中国の行政機関で幹部として重要な地位を占めていくこれら有望な若手職員を招聘することにより、我が国に対する理解を増進させ、我が国の若手行政官をはじめと

する青年層との交流や早稲田大学及び富士通の訪問を通じて日中両国青年間の友好を促進しました。

#### ④ 日中韓青少年の招聘

	実施年月	人数	訪日団団員構成	受入実施	訪問地
日中韓青少年交流事業	H20 9.17～ 9.23	100名	中国青年 (青年指導者、公務員、教育関係者、大学生)	青少年国際交流推進センター	東京、山形、 熊本、大阪

9月17日から23日の6泊7日の日程で日中韓3ヶ国の青年各100名が「東アジアの安定と繁栄のために青年の果たすべき役割」をテーマに視察・ディスカッションを実施。三国間の友好・相互理解を深めました。

(各国関係機関：中国側 中華全国青年連合会、韓国側 韓国青少年団体協議会、  
日本側 日韓文化交流基金、青少年国際交流推進センター )

#### (2) 派遣事業

##### ① 日本の高校生派遣事業

4府県から選ばれた日本の高校生201名を6月と10月の2陣に分けて派遣しました。

実施年月	人数	訪中団参加地域		派遣実施	訪問地
H20 6.10～ 6.16	100名	高校生	京都、栃木	友協	北京、長春、大連
H20 10.7～ 10.13	101名	高校生	宮城、茨城	会館	北京、武漢

- ・ 第一陣は京都府・栃木県から選抜された高校生100名が6月10日から16日まで6泊7日の日程で北京・長春・大連を訪問。
- ・ 第二陣は宮城県・茨城県から選抜された高校生101名が10月7日から13日まで6泊7日の日程で北京・武漢を訪問。

学校交流・ホームステイを通じて現地の学生と交流し、中国の家庭生活等を体験を通じて、互いの友情と理解を深めました。

##### ② 2008 日本青少年訪中代表団第二陣の派遣

12月18日から24日まで6泊7日の日程で福田前総理大臣を最高顧問とし、高村前外務大臣を総団長とする全873名が中華全国青年連合会の招聘により、訪中しました。

	実施年月	人数	参加地域または団員構成		派遣実施	訪問地
日本青少年 訪中代表团 第2陣	H20 12.18～ 12.24	873名	社会人	総団、国会議員、 国家公務員、友好 団体、地方自治体 青年、教育界、経 済界	会館	北京、寧波、 杭州、瀋陽、 大連、西安、 上海、南昌、 天津
			高校生	東京、神奈川、新 潟、静岡、滋賀、 愛媛、青森、岩手、 大阪、兵庫		
			大学生	早稲田大学	早稲田大学	
				その他一般大学	友協	

日本の大学生や日本の様々な分野で活躍する社会人並びに 10 都府県（東京・神奈川・新潟・静岡・滋賀・愛媛・青森・岩手・大阪・兵庫）から選抜された約 500 名の高校生が北京・寧波・杭州・瀋陽・大連・西安・上海・南昌・天津の各地を訪問し、学校訪問や企業見学、高校生はホームステイ等を行い相互理解を深めました。また、北京で行われた「2008 中日青少年友好交流年閉幕式」に出席しました。

### （3）諮問委員会

平成 21 年 2 月 27 日、会館小ホールにて第一回 21 世紀東アジア青少年交流計画諮問委員会を開催した。

諮問委員 高島 肇久（㈱日本国際放送代表取締役社長）  
 雨宮 忠（中央大学特任教授）  
 石川 好（秋田学術振興財団会長・作家）  
 高原 明生（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

第一回諮問委員会には 4 名の諮問委員のほか、外務省から垂秀夫アジア大洋州局中国・モンゴル課長、田尻和弘同地域調整官、会館からは谷野作太郎副会長、村上立躬理事長、吉川順一常務理事、呉従勇中国代表理事、入江一夫事務局長らが、また、オブザーバーとして国際交流基金日中交流センター橋本カツ子所長代行が出席しました。

平成 19・20 年度の交流事業内容や予算執行状況、21 年度事業計画の報告等がなされた。また、委員の先生方からは交流事業（招聘・派遣）における準備作業、ホームステイ受入状況についての質問や学校制度、教育の在り方等幅広く活発な意見交換が行われた。

### 〔3〕後楽寮会計

当財団には留学生・研究員の受入事業用施設「後楽寮」及び「後楽賓館研究員宿舎」がある。「後楽寮」は204室の個室を持ち、「後楽賓館研究員宿舎」は後楽賓館の2階と3階を研究員用の宿舎にあてている。

#### ★後楽寮入退寮状況

##### ①資格区分別入退寮者数

	平成20年4月1日 現在・在寮生数	平成20年度		平成21年3月31日 現在・在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	36	63	38	61
単位公派	29	29	30	28
自費学生	62	38	28	72
華僑学生	0	1	0	1
合計	127	131	96	162

\*国家公派は中国教育部の派遣研究員

\*単位公派は地方政府機関、大学、研究所の派遣研究員

\*自費学生は大学院正規課程生（修士課程・博士課程）

##### ②男女別入退寮者数

	平成20年4月1日 現在・在寮生数	平成20年度		平成21年3月31日 現在・在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男子	79	68	52	95
女子	43	63	44	67
合計	127	131	96	162

#### ★後楽賓館（研究員宿舎）入退館状況

	平成20年4月1日 現在・在寮生数	平成20年度		平成21年3月31日 現在・在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男子	8	12	6	14
女子	12	7	7	12
合計	20	19	13	26

\*派遣区分はすべて単位公派である。

### ★開館以来の入退寮（館）状況

「後楽寮」が昭和60年4月、「後楽賓館研究員宿舎」が昭和63年4月に開設され、それぞれ満24年および21年が経過し、その間の入退寮（館）者数は平成21年3月末現在次の通りである。

	入寮（館）	退寮（館）
後 楽 寮	2,890	2,728
後楽賓館 研究員宿舎	776	750
合 計	3,666	3,478

### ★活動実績

#### 1. 施設の改修・改善

従来男子寮生用に利用していた2階居室の一部を女子寮生用に改造した。また、インターネット接続機器及び回線を最新鋭のものに一新し、回線の接続状況を抜本的に改善した。

#### 2. 行事等

##### (1) 寮内行事

国慶節・春節の祝賀会は、寮生全員が中国留学生であるとの特性を会館として配慮した施策であり、また寮生にとり意義深い寮生委員会主催の行事であるほか、寮生間および寮生と知人等との間の親睦を深める機会でもあるので、本年度も盛大な開催を支援した。なお、寮生を講師とする学術講演会は好評を博しているため、ほぼ毎月一回の頻度で例年通り実施を支援した。

##### (2) 寮外行事

寮生と日本国民との交流活動の場として、昨年度も長野、小田原、加須等の日中友好団体や個人の協力を得て、従来同様各地で寮生のホームステイ活動を支援した。また、昨年度は、関係の団体、個人の協力を得て、寮生の国会等への見学や、都内各地での日中友好関連行事への参加についても積極的に支援した。

##### (3) 新入寮生懇談会

寮生の在寮期間はまちまちであり、しかも日ごろ勉学・研究に忙しくしているため、当財団の役職員との交流の機会が少ないとの問題点がある。よって新入寮生懇談会を毎年実施しているが、昨年度は6月および12月の2回にまとめて実施した。

##### (4) 奨学金

社団法人岸本クラブの協力を得て、同クラブより第23回奨学金として総額100万円を模範的な寮生27名に贈る贈呈式を7月に催した。

#### 3. 学生寮運営委員会

3月12日に学生寮運営委員会を開催した。委員会では、平成20年度の寮運営概況報告を審議願うとともに、新年度の学生寮運営に関わる方針等についても報告し審議い

ただいた。報告の中で、入居率を高めるための努力により、順番待ちの女子私費留学生の入居数が大きく改善されたこと、寮生の規則遵守意識が強まりつつあることを説明したほか、外務省、文部科学省、中国大使館、東京華僑総会、寮生委員会などからの出席者の意見を聴取した。

#### 〔4〕日中学院会計

##### ★学科状況

①本年度、日中学院の在籍者数は次の通りである。

	平成 21 年 3 月	平成 20 年 3 月	平成 19 年 3 月
本科	64 人	71 人	71 人
別科夜間	263	294	337
別科昼間	447	480	438
日本語科	38	27	32
文化講座	11	10	11
計	823	882	889

② 各科活動状況は次の通りである。

##### (イ) 本科（専門課程）

- ・平成 20 年度卒業生数

本科 25 名      本科研究 7 名

- ・平成 20 年度の主な行事

都内見学（4 月 22 日）、春季合宿（5 月 14、15 日）、遠足（7 月 16 日）、  
文化祭（10 月 25 日）、スポーツ大会（2 月 5 日）、弁論大会（1 月 27 日）、

- ・公開講座 7 月、8 月、1 月に実施し、参加者数は 38 名であった。

- ・中国短期研修

派遣先 中国人民大学

派遣期間 6 月 28 日～8 月 3 日

参加者数 17 名

- ・進路指導

進路面接 4 月 21 日

進路懇談会 第 1 回 5 月 22 日 就職活動セミナー（東京しごと  
センター就職支援アドバイザー）

第 2 回 6 月 4 日 卒業生を囲んで

##### (ロ) 別科（付帯教育 夜間コース）

- ・担任会議 各クラス報告 テキスト編集
- ・公開講座 年間 3 回実施
- ・朗読大会 年間 4 回実施
- ・合同合宿 年間 2 回実施
- ・1 日学習会 年間延べ 8 回実施

(ハ) 別科 (付帯教育 昼間コース)

- ・日本語科留学生との交流会 3回実施
- ・公開講座 年間12回実施

(ニ) 日本語科 (専門課程)

- ・卒業生・修了生 11名
- ・平成20年度の主な行事  
都内見学 (4月22日)、春季合宿 (5月4～5日)、  
別科との昼食会 (6月4～6日)、遠足 (7月16日)、文化祭 (10月25日)、  
鎌倉ハイキング (11月21日)、スポーツ大会 (2月5日)、  
国会見学 (1月16日)、弁論大会 (1月27日)、春節パーティ (1月26日)

③その他

- ・校友会活動 ①留学生とのバスハイク 2008年9月27日  
江ノ島観光と温泉の旅
- ②訪中団 2009年3月24～29日  
四川綿竹・都江堰・臥安・峨眉山を訪ねる旅

④日中学院評議会

- ・第28回評議会 平成21年2月24日 (火) 午後1時30分～2時30分  
議事事項 平成21年度日中学院活動計画、  
平成21年度日中学院予算、  
学院長人事について

### Ⅲ. 法人の状況

#### ★役員会等に関する事項

##### ①理事会

開催日時	場 所	議 事 事 項
第 64 回 平成 20 年 6 月 19 日(水) 午後 2 時～ 3 時 30 分	日中友好会館	〔議事〕 ①平成 19 年度事業概要報告書(案)並びに 平成 19 年度決算書(案)承認の件 〔報告事項〕 ①四川省震災遺児支援議連について ②四川省大地震義援金について ③ 20 周年祝賀行事について ④公共法人制度改革について ⑤国際緊急援助隊医療チームについて
第 65 回 平成 21 年 3 月 25 日(水) 午後 2 時～ 3 時 30 分	日中友好会館	〔議事〕 ①名誉会長推挙の件 ②平成 20 年度収支予算の補正(案)承認の 件 ③平成 20 年度事業計画(案)並びに収支予 算(案)承認の件 〔報告事項〕 ①李長春常務委員来日歓迎レセプション について ②公益法人制度改革への対応方針につい て

##### ②評議員会

開催日時	場 所	議 事 事 項
第 53 回 平成 20 年 6 月 24 日(火) 午前 10 時 30 分～ 12 時	日中友好会館	〔議事〕 ①議長選出の件 ②理事推薦の件 〔報告事項〕 ①平成 19 年度事業概要報告並びに決算 報告について ②平成 20 年度事業計画並びに収支予算 について ③会館建設 20 周年記念行事について

③学生寮運営委員会

開催日時	場 所	議 事 事 項
第 27 回 平成 21 年 3 月 12 日 (木) 午後 2 時～ 3 時 30 分	日中友好会館	①平成 20 年度学生寮運営概況報告及び 平成 21 年度の運営方針説明

④日中学院評議会

開催日時	場 所	議 事 事 項
第 28 回 平成 21 年 2 月 24 日 (火) 午後 1 時 30 分～ 2 時 30 分	日中学院	①平成 21 年度日中学院活動予定 ②平成 21 年度日中学院予算 ③学院長人事について

★役員に関する事項

平成 20 年度中の役員の変動は次の通りである。

平成 20 年 6 月 25 日 理事の清水正夫氏が死去。

平成 20 年 6 月 29 日 文遅、村上立躬、呉従勇、太田昭宏、竹下亘の各氏が理事に再任。

平成 21 年 3 月 31 日 理事の林義郎氏が辞任。

★職員の状態 (平成 21 年 3 月末現在)

	職 員	嘱 託	臨時職員	計	前年度比
男 子	8	7	0	15	+1
女 子	18	4	0	22	+5
計	26	11	0	37	+6

★日中学院教職員の状態 (平成 21 年 3 月末現在)

	教 員	職 員	計	前年度比
男 子	16	2	18	-3
女 子	45	4	49	+6
計	61	6	67	+3